

中央環境審議会 水環境部会
第 2 回 瀬戸内海環境保全小委員会
(平成 2 5 年 8 月 1 9 日)

経済産業省の施策

経済産業省

施策名：大規模石油災害対応体制整備事業

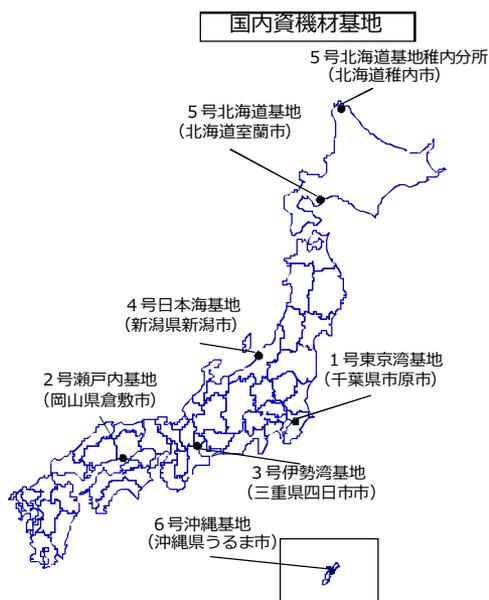
担当部局：経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課
実施期間：平成2年度～

施策の概要、進捗状況等

1)タンカー等からの大量の石油流出事故は、いったん発生すると環境等に大きな影響を与える可能性がある。しかし、事故対応の緊急性、十分な油濁防除資機材の保有の限界、環境汚染の広域化等から、地方自治体や民間のみでは体制を整備することが困難であることから、大規模石油流出災害に対応する体制の整備に関する事業への支援を実施。

2)本事業は、石油連盟に対し補助金を交付し、同連盟がオイルフェンス、油回収機等の油濁防除資機材基地を設置。大規模石油流出災害が発生した際、災害関係者の要請を受け油濁防除資機材の貸し出し等を行う。

3)瀬戸内海については、平成4年9月から倉敷市に油濁防除資機材基地を設置。



評価及び課題

資機材の維持管理、補修・修繕等を行う体制を整備。また、資機材の操作訓練と併せ、実際の海上流出事故を想定した訓練を定期的に実施。物的側面及び人的側面において油流出事故への備えを図っている。

瀬戸内海関係地域での実施事例

瀬戸内海における油濁防除資機材基地及び主な配備資機材
(平成24年度末現在)

- (1)基地名 瀬戸内基地
- (2)所在地 岡山県倉敷市
- (3)開設時期 平成4年9月
- (4)配備資機材
 - 固形式オイルフェンス(26基)、充気式オイルフェンス(7基)、油回収機(14基※)、仮設タンク(36基)、ビーチクリーナー(6基)等
 - 資機材は、原則、耐用年数に応じた代替更新を実施。
※平成24年度、東南海地震等による大規模油濁事故が発生した場合に備え、平成24年に高性能大型油回収機を追加配備し、能力を増強。

2号瀬戸内基地の油濁防除資機材の貸出実績

- シー・プリンス号座礁事故の際に、2号瀬戸内基地からオイルフェンス、油回収機、ビーチクリーナー、仮設タンクを貸出(H7/7/23)。
- ナホトカ号油流出事故の際に、2号瀬戸内基地を含む国内6基地からオイルフェンス、油回収機、ビーチクリーナー、仮設タンクを貸出(H9/1/2)。
- 東日本大震災に伴う製油所構内での重質油流出事故の際に、2号瀬戸内基地及び4号日本海基地から油回収機、ビーチクリーナー、仮設タンクを貸出(H23/3/11)。

2号瀬戸内基地で実施した訓練実績

- 2号瀬戸内基地要員を対象に、沖合での大規模油流出事故を想定し、船舶を使用した洋上訓練を実施。(H25/7/31-8/1)
- 原油・石油製品を取り扱う事業所社員等、油流出事故発生時に活動が想定される要員を対象に、座学(オイルフェンス、油回収機等の概要)及び実技(資機材の組立、操作)を実施。(H24/10/25-26)



H25/7/31-8/1に実施した訓練